



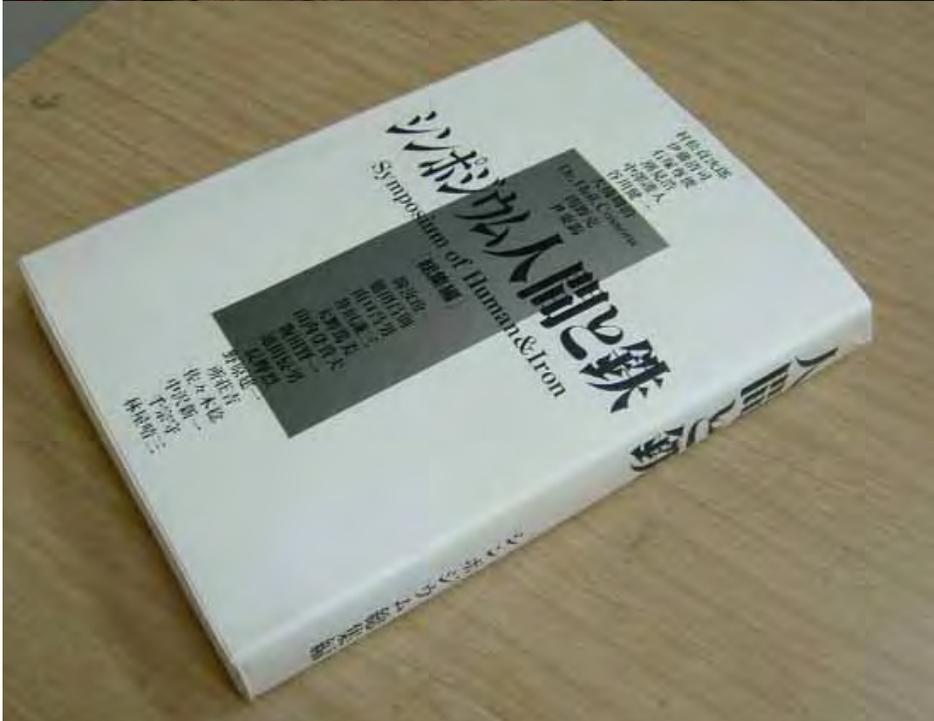
「たたら製鉄」の歴史と交流を活かした  
コミュニティ創生事業

鉄の歴史村交流推進会議

# 「鉄の歴史村」のこれまでの文化事業



# 「鉄の歴史村」のこれまでの文化事業





なつかしくて、あたらしい、山里の暮らし。



「鉄の歴史村」のこれまでの産業づくり



# 鉄山師の町並みづくり



## これまでの成果

①「鉄の歴史村」という地域の”顔”としての個性を表現し、発信することができた。

②それぞれの役割を担う組織を整えることができた。

《文化》(財)鉄の歴史村地域振興事業団

《産業》(株)吉田ふるさと村（第3セクター）

《交流産業》(株)鉄の歴史村（まちづくり会社）

《交流型農業》(有)木村有機農園（農業法人）

《住民活動》NPOまちづくりコラボレーション島根

## 地域（旧吉田村）の課題

①地域の人口減少、少子高齢化が進んでいる。

②市町村合併により、町内消費が落ち込み、暮らしの不安。

③コミュニティ存続の危機。

	平成7年	平成12年	平成17年
人口	2,668人	2,433人	2,163人
減少率	△0.7%	△8.8%	△12.5%
高齢化率	26.0%	33.4%	38.8%

# 鉄の歴史村交流推進会議の設立

■課題を解決するためには...

これまで蓄積した「鉄の歴史村」という資源を活用する

文化的役割、産業の役割を担うそれぞれの団体が協力する

交流人口の拡大を目指して  
「文化と産業のパートナーシップ」

交流により、地域に新しい活動が起こり、コミュニティ後継者が生まれる。このことにより、コミュニティの創生を図る。



**新たな公を目指して……**

**「たたら製鉄」の歴史と交流を活かしたコミュニティ創生事業（平成20年度）**

**①都市住民をターゲットとする地域の資源や魅力を紹介するテストツアーを実施する。**

**②「鉄の歴史村」に関する様々な情報を共有できるWebサイトを構築する。**

**③以上①、②の成果を踏まえ、地域の有効なPR方法を検討する。**



# ①研修会の開催...「地域再生フォーラム」



## 鉄の歴史村・地域再生フォーラム

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業  
主催：鉄の歴史村交流推進会議



## ②旅行商品の開発（検討会）



### ③パンフレットの作成



#### 文化に触れる

鉄山師の町並みには、田部家を中心に育まれた文化が、ゆったりとした時間の中に伝えられています。

中国地方一帯では、古くから「たたら製鉄」が盛んに行われていました。中でも奥出雲地方で産出される鉄は、質、量ともに群を抜いていましたが、その中心的存在であったのが「田部家」でした。田部家が経営する「菅谷たたら」で生産される「出雲鋼」は、その品質が優れていたことから、全国に移出され、江戸時代、松江藩の有力な財源となっていました。

また、田部家の繁栄とともに吉田町の中心部の町並みは、「企業城下町」として栄え、生活風土と文化の薫りを色濃く残した往時の面影を今に伝えています。



#### ■本町通り

緩やかな坂道の通りには、風格と落ち着きが漂います。

# ④テストツアーの実施



# ⑤Webサイトの構築

<http://www.tetsunorekishimura.com/>

Photo

▶ 新着情報



Contents  
コンテンツ



お知らせ



鉄の歴史村日記



アクセス

鉄の歴史村

歴史に学び、今を生きる 自然の歴史と鉄の歴史

## ⑥地域の有効なPRのやり方を検討

★合意形成  
★パンフレット作成  
★Webサイト構築

★旅行商品開発  
★テストツアー  
の実施

PRツール  
の有効活用

マーケティング  
が重要

目指す姿と方法を明確にし、共有する  
「コミュニティ創生計画」を策定。

## 平成20年度 事業の成果

---

- ① 多様なプロモーションが可能になった。
- ② 地域内での意識を共有できた。
- ③ プロモーションを行う上での課題を発見できた。
- ④ モニターツアーで専門的なアドバイスを受け、重要な参考となった。
- ⑤ 「新たな公」を具体的に構想できた。



# 平成21年度～22年度の取り組み

## ◆受入れ体制の充実 ～料理研究会～



# ◆受入れ体制の充実 ～「出雲の阿国」～



# ◆受入れ体制の充実 ～鉄の歴史美術館～



## ◆都市部のニーズ調査（ヒアリング）



# ◆都市部のニーズ調査



## ◆ ツーリズムイベントの試み



## 直近の事業成果など

①「本町通り」など、町の歴史に対する住民の関心が高まった。

②地元の若手飲食関係者やイベントプロデューサーなど、交流の担い手としての意識が芽生え始めた。

③近隣都市部（松江市など）のニーズを知ることができた。

④事業を通して、県や市などの地元自治体職員の理解や協力を得るようになった。

## 「新しい公共」としてのこれからの取り組み

---

### ① 【食の回廊】

若手商店関係者が主体となり、経済波及効果の大きい交流活動への発展。

### ② 【美術館と学習活動】

文化活動において、高齢者と若者のコミュニケーション機会の増大。



# 「新しい公共」としてのこれからの取り組み

## ③【高速道路と広島市場】

高速道路（H24年度）に向けた広島方面へのプロモーション活動。

## ④【交流ソフトのブラッシュアップ】

地域個性を活かした魅力と、広域的な連携による交流ソフトのブラッシュアップ



福山市

「崖の上のポニョ」



雲南市吉田町

「もののけ姫」



三次市

「稲生武太夫もののけ録」



境港市

「ゲゲゲの鬼太郎」